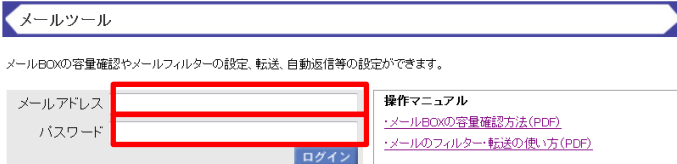


# メールのフィルター・転送の使い方

## 【メールのフィルター・転送の使い方】

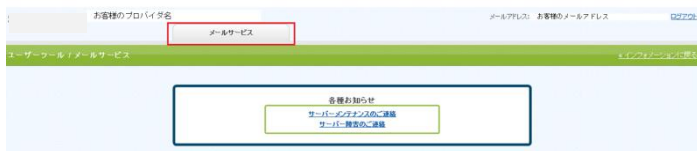
受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

1. メールツールログイン画面にてメールアドレス、メールパスワードを入力します。

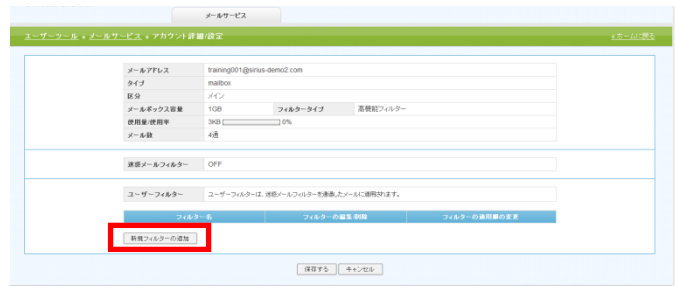


メールアドレスとご設定いただいたパスワードを入力してください。  
 ※パスワードをお忘れの場合、こちら(PDF)を印刷してご記入の上、サポートまでご連絡もしくはFAXにてお送りください。  
<https://www.mnkr.or.jp/tel.html>

2. [メールサービス]をクリックします。



3. 【メールサービスの詳細】が表示されますので、[新規フィルターの追加]をクリックします。



4.【ユーザーフィルターの新規作成】が表示されます。



5. 【フィルターの名前欄】に、任意のフィルター名を入力します。



6.【ルールの適用条件】を設定します。新しく条件を追加するには [新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

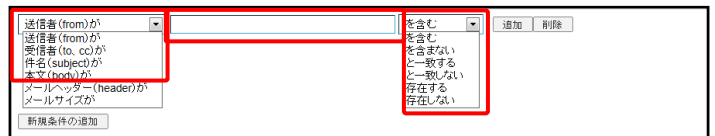
(1)

ルールの適用条件		
<input checked="" type="radio"/>	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。(or条件の指定になります)
<input type="radio"/>	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。(and条件の指定になります)
<input type="radio"/>	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)

条件の設定画面は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

◆パターン1:「送信者(from)、受信者(to、cc)、件名(Subject)、本文(body)」が選択した場合。

(1) (2) (3)



(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to、cc)が	条件にメールの受信者(to、cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)が	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)が	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致する場合に動作します。 ※一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『From が』『sample@ejworks.com』という設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダのFromが、『"イージュエーサンプル" < sample@ejworks.com >』となっている場合には、一致とは判定されないので、フィルター設定は動作しません。
(3)	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致しない場合に動作します。
	存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header情報の有無を確認する項目となります。 例)『From:』『To:』『Cc:』『Subject:』のヘッダが存在するかどうかを判断します。 ※『本文(body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作いたしません。
	存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在しない場合に動作します。

◆パターン2:「メールヘッダー(header)が」を選択した場合。

(1) (2) (3) (4)

(1)	メールヘッダー (header) が	条件にメールヘッダー(header)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、header を入力します。header はメール画面から確認できます。 【入力例】 From(送信者)が、sample@ejworks.com を含む場合 この場合は「From」と入力します。 メールヘッダー(header)が From sample@ejworks.com を含む 追加 削除
(3)		(2)で入力した header の詳細条件を入力します。 【入力例】 From(差出人)が、sample@ejworks.com を含む場合 この場合は「sample@ejworks.com」と入力します。 メールヘッダー(header)が From sample@ejworks.com を含む 追加 削除
	を含む	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。*含む/含まないは、部分一致を意味します。
	含まない	(2)と(3)で入力した header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力した header 情報が一致する場合に動作します。*一致する/しないは、完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力した header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	入力した header 情報が存在する場合に動作します。 *存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」等のヘッダが存在するかを判断します。 *こちらの項目を選択した際には項目が変化します。 メールヘッダー(header)が 存在する 存在しない 条件の削除
	存在しない	入力した header 情報が存在しない場合に動作します

◆パターン3:「メールサイズが」を選択した場合。

(1) (2) (3)

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)		(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト~GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。	

7. 設定した【ルールの適用時間】を設定します。

「常時」または「時間指定」にチェックを入れて 0~23 時の間で時間を指定します。

※時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

※[9]時台~[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。

※21時台~8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

8. 実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能となっております。

新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

※実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

◆パターン1: 次フォルダにメールを移動する、次フォルダにメールをコピーする

(1)	次フォルダにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。
	次フォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)	選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。 *初期フォルダは、Web メールにログインした際に自動作成されます。 *初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダー」の6つのフォルダがありますが、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合はこの一覧に表示されます。	

◆パターン2: 次のアドレスにメールを転送する

(転送後サーバーに残さない/残す)

(1) (2)

(1)	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送します。転送したメールはサーバーから削除します。 *転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。転送したメールをサーバーに残す設定です。
(2)	*転送するメールの送り先のメールアドレスを入力します。	

### ◆パターン3: メールを破棄する

(1) (2)

メールを破棄する

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 ※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
(3)	差出人に対して送信するメッセージを入力します。未入力でも問題ありません。	

### ◆パターン4: バケーションメールを送信する

(1) バケーションメールを送信する

(2) 本文  
  
 件名  
  
 受信者  
  
 返送禁止期間  日

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。 バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 ※件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。
	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛でのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1~90 日の間で半角の数字を入力します。

### ◆パターン5: メールを削除する、ルール評価を停止する

メールを削除する

メールを削除する	条件に該当したメールをサーバーから削除します。 ※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
ルール評価を停止する	※複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルターの設定は実行されなくなります。  【設定例】下図のようにユーザーフィルターを 3 つ設定している場合にユーザーフィルター2で『ルール評価を停止する』を設定していると以後のユーザーフィルター3が実行されなくなります。 ユーザーフィルター2に『ルール評価を停止する』設定がある状態。



9. 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

### ユーザーフィルターの適用順の変更

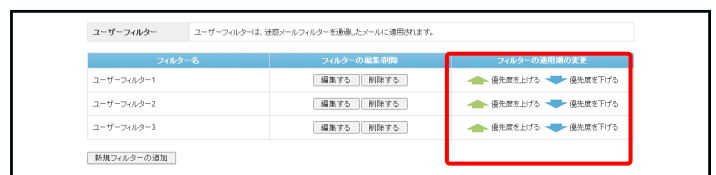
ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

※『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。



### ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの[編集する]ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの[削除する]ボタンをクリックし、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※[保存する]ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。



発行元: 株式会社イージェーワークス

発効日: 2012年 9 月 26 日 rev2

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、

原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。

著作権法により、当社に無断で転用、複製等することを禁じます。